

競技に関する注意事項

1 コロナウィルス感染拡大防止対策

- (1) 今大会は無観客とし、競技場へ入場できるのは、各団体の陸上競技部代表、競技役員、選手、マネージャーのみとする。競技場またはウォーミングアップ場へ入場する場合は、確認された体調管理チェックシート（検印されているシート）の提示が必要となる。必ずマスクを着用し、三密を避ける。
- (2)①競技場へ入場する全ての人は、本大会1週間前から今大会用の「大会前・確認用体調管理チェックシート」（以後、チェックシート）を記入する。また、このチェックシートは大会後2週間、各自で保管するものとする。
②競技場に着いたら最初に必ず選手・代表・マネージャーは1階正面玄関付近で必ずチェックシートの確認（検印）を受ける。これを受けなければ、本競技場、ウォームアップ場への入場や招集を行うことができない。
③チェックシートは招集完了後に競技場へ入場する際、ゲートで提示し確認を受けて入場をする。
④各団体の代表も、受付時にチェックシートの確認が必要となる。その時、検印を押印するのでメインスタンドへの入退場を使用する。（審判員は審判員証を提示。）各団体の代表、マネージャーはメインスタンド2階正面出入口から入退場する。
⑤大会当日に出場できない選手がいる場合は、競技者係（招集場）に欠場届を提出するか口頭で申し出る。
⑥大会後の2週間についても「大会後・自己管理用体調管理チェックシート」を記録する。
- (3)原則、出場する種目の競技開始2時間前から競技場への来場を認める。
- (4)正面スタンドについては、検印がされているチェックシートを所持した人のみが入場できる。特に席を指定しないが、密を避けて座る。
- (5)声を出しての応援は個人、集団問わず禁止する。
- (6)ウォーミングアップや自身の競技の最中以外は、極力マスクを着用し、三密を避ける行動をする。
- (7)更衣室を使用する際は1階正面玄関入り口から入り、利用手続きをする。ただし、シャワーの使用は不可とする。使用状況によっては、人数を調整する。
- (8)必ず手洗いなどを行い、消毒を実施し、新型コロナウイルスの感染予防に努める。
- (9)競技終了後は速やかに帰宅する。

2 競技会全般に関して

1. 本大会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則によって行う。
本大会のスタート動作における競技規則は、国内ルールを適用する。
2. 各団体代表者(学校については引率教員)は、競技の招集開始時刻までに受付を済ませておく（受付がない場合、競技者は競技に出場できない）。
3. 招集所、招集時間について
 - (1) 招集は、1階正面玄関ウッドデッキで行う。
 - (2) 招集時間は、タイムテーブルに記載されている時間とする。
 - (3) 1階正面玄関ウッドデッキを控え場所として使用しない。（緊急時には、避難場所として使用する。）
4. ウォーミングアップについて
 - (1)本競技場
本競技場内でのウォーミングアップは競技に支障のない範囲では行って良い。
朝のウォーミングアップについては準備が早く完了した場合は、第1種目開始15分前まで行って良い。
 - (2) ウォーミングアップ場（野球場）
 - ①終了時刻は最終種目招集開始時刻までとする。
 - ②跳躍練習、投擲練習、スパイクを利用した練習は実施できない。
 - ③他人の怪我につながる可能性のある行為はしない。
 - ④本競技場で入場受付を済ませたチェックシートを所持者のみ入場可能とする。
5. 施設設備の使用について
今大会では競技終了後の清掃当番がないので、各自で出したごみは必ず持ち帰ること。近隣のゴミ箱等に捨てることはしない。
6. 写真及びビデオ撮影について
 - (1) 保護者及び本人の了承がない撮影を禁止する。

- (2) 下記のエリアを撮影禁止とする。
- ・各種目のスタート後方
 - ・走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳の助走後方と着地前方
 - ・走高跳のマットに向かった正面（クリアランス動作中）
- (3) スターティングブロックの足合わせを行っている間や試技を待っている間、身体を動かしている間など競技の準備を行っているときは撮影禁止とする。
- (4) 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断する場合は、速やかに警察及び関係機関に連絡をする。
7. 表彰について
本大会は表彰式を行わない。1位の選手に表彰状とメダルを2位～6位までの選手に表彰状を与える。関係者は大会本部に表彰状を取りに来ること。
8. 本大会は中学新人大会（3日目）も同時並行で実施する。
9. Live 配信について
今大会は、YouTube によるライブ配信を行う。

3 競技に関して

1. アスリートビブス（ナンバーカード）について
- (1) ユニフォームの胸、背に確実につける。ただし跳躍競技は、胸または背につけるだけでもよい。
 - (2) トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与する。ランニングパンツの右横や後方に、明確に数字が読めるようにつける。
 - (3) 腰ナンバーカードは、フィニッシュ後直ちに係員に返却する。
2. 競技について
- (1) トラック競技の走路順・フィールド競技順は、プログラム記載順とする。
 - (2) 競技者の変更はいっさい認めない。
 - (3) 使用器具は、原則として競技場備えつけのものを使用する。ただし、投てき器具は検定を受けて使用することができる。
 - (4) 全天候走路なので、トラック・フィールド共スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。いずれの場合も本数は11本以内とする。（参照 TR5.3）
 - (5) （WA 規則第143条（TR5:シューズ）のルールを適用する。規格外のシューズを使用して競技に出場した場合は、失格として取り扱う。
本大会は、標記の規則を適用して実施する。招集所にて、靴の確認を行なう場合がある。
 - (6) 日本陸連発出の文章「陸連21発第5-2号」に基づき、本大会はフィールド競技用シューズのTR5.5を適用せず実施する。記録は国内の公認記録として認められる。フィールド種目についてはWAへの申告を行わず、国際大会への参加資格とはならない。
 - (7) 400m までのトラック競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)で減速し止まる。
 - (8) 高校投擲種目については記録会として実施し、試技回数は3回とする。
 - (9) 三段跳は踏み切り板を女9m、男11mとする。
 - (10) 800m を9名以上で実施する場合、外側のレーンから順に2名ずつ入れる。その場合、欠場者があれば、内側から若い腰ナンバー順につめるため、招集が完了し、出場者が確定してからスタートレーンを確定する。
 - (11) 競技進行の都合上、以下のタイムで競技を打ち切る。

競技	時間
女 3000m	15 分
男 5000m	19 分
男女 5000mW	40 分

【選手の動線について】

1. 競技場内にはそれぞれ指定されたゲート（招集後入場口）から入退場すること。
2. 入場の際は体調管理チェックシートを提示すること。
3. 指定されていないグラウンドレベルのゲートは封鎖する。また、メインスタンド下は通行しない。
4. 競技場内を通過する際には、競技運営に支障が無いように十分配慮すること。
5. 招集完了はタイムテーブル記載のとおり。場所は正面玄関ウッドデッキに設置する。
6. トラック種目はゴール付近に設置した腰ナンバーカード回収所で腰ナンバーカードを返却し、荷物置き場に戻る。その際遠回りでも、グラウンドを一周する。
7. 競技終了後速やかに競技場外へ退出すること。
8. 記録の掲示は行わないので、記録速報ページで記録を確認すること。上位者のアナウンスによる発表は行う。
9. 荷物について
特に置き場所は指定しない。ただし、競技運営上支障のない場所で、三密にならないようにすること。